

# 宮城県の今を伝える

# REPORT

## 第1号

2012年11月1日

# みやぎ

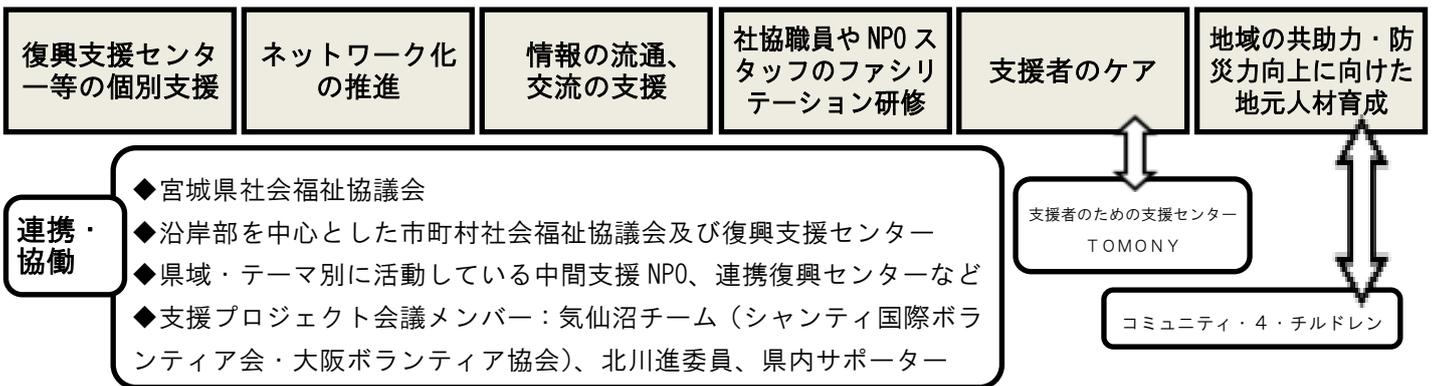
### 動き

宮城県内では、現在も様々な支援ニーズがあり、生活支援・復興支援に取り組む社会福祉協議会や復興支援センター、NPOや様々な団体のサポートのために、継続的な人材の派遣と求められる支援ニーズへの対応を行っています。これにあたっては、支援プロジェクト会議の構成団体ごとに動くのではなく、チームとして情報共有しながら、具体的なプログラムの開発や実施など支援活動に取り組んでいます。今回は活動の全体像と、その中からいくつかの動きをトピックスでお知らせします。

## 支援プロジェクト会議 宮城チーム

- 桑原英文(支援P 幹事、JPCOM代表、コミュニティ・4・チルドレン代表理事)
- 山下弘彦(日野ボランティア・ネットワーク事務局)
- 千川原公彦(ウェザー・ハート代表)
- 菅原清香(コミュニティ・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター、TOMONY 事務局)

○事業の対象者：沿岸部の復興支援センター、県内の社会福祉協議会やNPO等復興支援に関わる関係者、地域ボランティア、民生児童委員、地域住民など



## 復興支援センター等の 巡回、個別支援

支援プロジェクト会議・宮城チームでは、沿岸地域の復興支援センター等を中心に巡回し、支援を継続しています。

沿岸地域では、被災状況や地域事情などにより、被災された方や支援組織の課題が被災当初よりも個別化しているため、巡回や個別連絡により、状況を共有し課題を踏まえた取り組みをとともに検討しています。

併せて、県社会福祉協議会復興支援局震災復興定例支援会議、復興みやぎネットワーク会議などの県域の場、仙南2市2町社会福祉協議会情報交換会など地域ごとの場に協力・参加することなどを通して、様々な方々と連携・協働しながら、支援のニーズ把握と活動にあたっていきます。内陸地域にも目を配りながら、こうした中から見定めた、人材育成や支援者のケアなどをはじめとした生活支援や復興活かす取り組みを、今後も継続していきます。



## ネットワーキングの推進 情報の流通、交流活動

### 宮城県社協復興局

#### 「震災復興定例支援会議」

宮城県社協では、4月から震災復興支援局を開局し、沿岸地域の11の市町村社協（復興支援センターなど）に、職員を派遣し支援しています。

毎月の震災復興定例支援

会議では、その派遣職員の状況報告・意見交換、支援活動にあたっては、NPO、全社協などの関係機関・団体からの報告などを行っています。



### 結っこの会

支援プロジェクト会議委員、現在・石巻市社協の北川進さんの声掛けで、5月12日から始まった「結っこの会」では、これからの地域福祉活動が進むべき道を模索しています。

社協職員やNPO職員、復興支援コーディネーターなど10人ほどの有志が集まり、情報交換したり、ゲストに学んだりしています。立場や業務は違えども、相互につながり合いながら明日の宮城を支えて行こうとしている研究会です。



結っこの会（8/25日）

## 柴田・大崎に 資機材をストック

災害時のボランティア活動には、人材、財源に加えて様々な資機材が必要となります。今後の災害に備え、資機材を柴田町社協（支援プロジェクト会議より設置費助成）、大崎市社協（独自設置）の防災倉庫に10月5日搬入しました。

この資機材は、九州北部豪雨災害で八女市での支援活動を支えたスコップや一輪車などです。実は、石巻市や福島県只見町・金山町、和歌山県新宮市にリレーされたものです。

今後、宮城県内や隣接する秋田県や山形県、また全国で災害が発生した場合にストックヤードの機能を活かした支援を繋いでいきたいと考えています。



柴田町社会福祉協議会に搬入した資機材

## 社協職員や NPOスタッフ研修

住民の皆さんの生活支援、生活再建に向けて、助け合い・支え合う地域づくりを支援する社協職員、復興支援コーディネーターや生活支援相談員のスキルアップ研修を開催地の社協と共に実施しました。

石巻市（8月1日）では、「地域福祉におけるボランティア支援」をテーマに、地域福祉とボランティア活動の基本やこれまでの歴史、現在必要とされる取り組み視点を共有し、グループワークでは、個人個人の姿勢や職場環境や社会資源の把握状況などのチェックをした後、その向上に向けたディスカッションを行いました。

美里町（8月9日）では、「ファシリテーション」をテーマに住民座談会を充実させようというテーマに住民座談会や懇談会等の場面で住民の皆さんの参画度合いを高め、多様な考えをまとめつつ、合意形成に導き、実行に向けたモチベーションを高めるために求められるスキル向上を図りました。

コミュニケーションやファシリテーションスキルを高める研修の場を、年内3回程実施する予定です。



## 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議・宮城チーム活動レポート

発行責任者：桑原英文

発行日：2012年11月1日

編集：災害ボランティア活動支援プロジェクト会議・宮城チーム

（桑原英文・山下弘彦・千川原公彦・菅原清香）

連絡先(代表)：shienp.miyagi2011@gmail.com

